



東北大学

インフラ・マネジメント研究センター

Center for Infrastructure Management Research, Tohoku University

Information

令和元年 10 月 25 日

「ながさき建設技術フェア2019」への 出展のお知らせ

この度、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターは、「ながさき建設技術フェア2019」にて、各自治体・企業との取り組み、当センターから派生したベンチャー企業の取り組みを紹介する展示を行います。

当センターの展示ブースへのお越しをお待ちしております。

記

1. 日 時 : 令和元年 10 月 30 日 (水) 13:00~17:30
10 月 31 日 (木) 10:00~15:30
2. 開催場所 : 長崎県立総合体育館メインアリーナ (長崎市油木町7番1号)
3. 催事名 : ながさき建設技術フェア2019
4. 展示ブース : メー33 (長崎大学との共同出展)
5. 出展内容 : ※別紙資料を参照

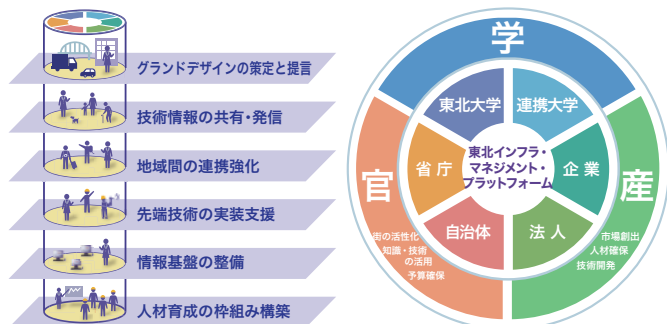
【問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター
担当 鎌田、三浦
電話 022-721-5503
E-mail inquiry-imc@grp.tohoku.ac.jp

インフラ・マネジメント研究センター 取組み紹介

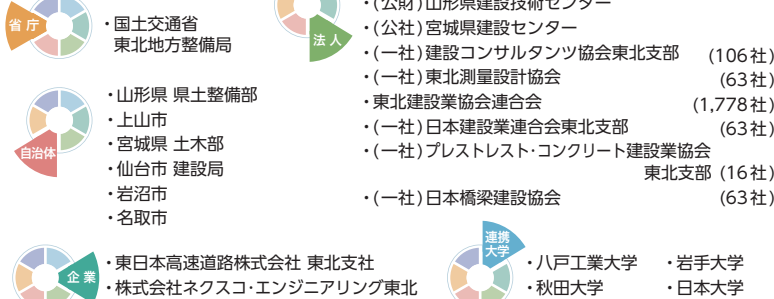
1 東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開

- ◆ 東北地方における産学官をネットワーク化
- ◆ 各組織がもつ知識・ニーズ・場・人材を集結させたゲートウェイ



連携状況

18機関と協定締結



※2019年4月時点 ※()内は会員数

2 情報基盤の整備、社会実装

産学官連携による橋梁メンテナンス統合データベースシステム
自治体支援データベースシステムの導入

橋梁点検データを一元管理! 時短で経済的な点検に!
点検・診断の高度化・効率化、補修計画・予算管理の適正化を実現

東日本高速道路株式会社のデータベース(DB)システム(SIPの成果)を元に、自治体向けのDBシステムを構築し、導入支援を行いました。

山形県、公益財団法人山形県建設技術センター

導入のメリット

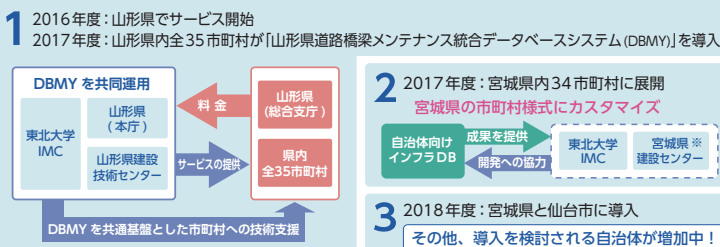
1橋分の橋梁診断書(カルテ)作成時間

手作業 ※資料を探しながら入力 統合データベースシステム

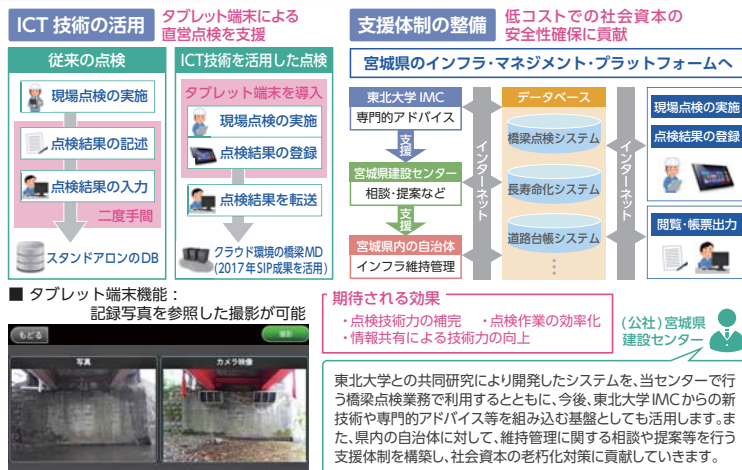


「自治体向けインフラDB」を活用させていただき、山形県版にカスタマイズしています。これにより、県と市町村が保有していた様式等を大幅に変更せず、高性能で使いやすいデータベースシステムを短期間、かつ経済的に開発することができました。

活用実績・予定等



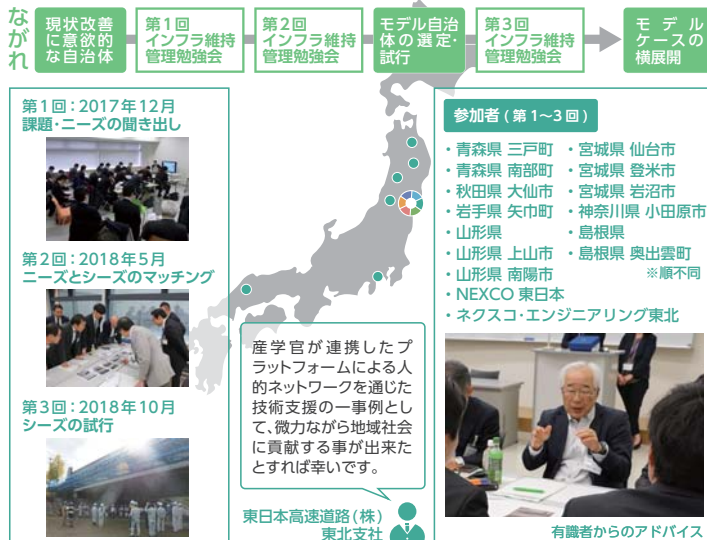
公益社団法人宮城県建設センター※



3 人材育成の枠組み構築

市町村勉強会

- ◆ 自治体職員を対象とした勉強会を実施
- ◆ 現場レベルのニーズや課題の吸い上げ、有識者からのアドバイス等を実施



4 受賞

第1回 日本オープン イノベーション大賞

国土交通大臣賞 受賞



授賞式: 2019年3月5日 虎ノ門ヒルズ

2019年2月5日に発表された、第1回日本オープンイノベーション大賞において、久田真(代表者: 東北大学教授(工学研究科インフラ・マネジメント研究センター長))、金井浩(東北大学教授、長坂徹也(東北大学教授(工学研究科長))、皆川浩(東北大学准教授)、鎌田真(東北大学特任准教授(工学研究科インフラ・マネジメント研究センター副センター長))が、**国土交通省大臣賞を受賞**しました。

TEL : 022-721-5503 E-mail : inquiry-imc@grp.tohoku.ac.jp HP : <http://imc-tohoku.org/>